

参加型シンポジウム

「仏教×SDGs×学び ～出会いと行動・これからの学び～」

【登壇者】プロフィール

○山藤旅聞（新渡戸文化中学校・高等学校副校長）



新渡戸文化中学・高等学校・副校長・高校教育デザイナー、一般社団法人 旅する学校 代表理事、一般社団法人 Think the Earth SDGs for School アドバイザー。

2004年より都立高校で生物の教員となり、オール実験の授業や生徒の「問い」だけで進める授業、生徒が主体的・自立的に学びを進める「対話式・双方向性授業」などを実践。2012年 JICA でブータンに渡航したことをきっかけに、教科と社会課題をつなげて、生徒自らが解決に向けて「行動する」ことを目指す授業スタイルへ変容。具体的には、企業や NPO/NGO とパートナーシップを組んだ PBL (project based Learning) を実施し、現在は 150 を超えるプロジェクトを生み出している。

また、一般社団法人 Think the Earth に所属しながら SDGs を取り入れた教育デザインの実践紹介やプロジェクト作り方について、全国規模で出前授業や講演を展開。教科書の執筆や NHK 高校講座の講師など、多領域での教育活動も展開中。2019年より現職。共著に『気候変動の時代を生きる』（山川出版・2019年）、『未来を変える目標 SDGs アイデアブック』（Think the Earth・2018年）がある。2019年環境省グッドライフアワード環境大臣賞受賞、同年 立教大学環境会 副代表に就任。2022年一般社団法人 旅する学校を創設。

TBS seeder 出演 <https://www.youtube.com/watch?v=BrugEvUc1Us>

○澤本志帆（Music Activist、NPO 法人みんなのカラダ Labo 代表）



1986 年生まれ大阪出身。

音楽家として活動をしていたが東日本大震災を契機に音楽を通して社会問題に取り組む活動を始める。

2013 年より震災で被害を受けた陸前高田の支援を始め、

2014 年から世界一周の旅を始め、その際訪問したケニアの子ども達の支援を始める。

2015 年よりケニアの少年院にえんぴつを届けるプロジェクトを行い 2000 本の鉛筆を届ける。

2016 年には鉛筆プロジェクトと折り鶴プロジェクトを行い、ケニアの 2 つの学校に鶴を届け、同時に協力してくれた学校に鶴を返すプロジェクトを行う。

訪問中にケニアの女の子たちが、生理が始まるとナプキンが買えず学校へ行けない子が 10 人に 1 人いると知ったことをきっかけにプロジェクトを発足させる。

○山下千朝（浄土宗僧侶／Amrita 株式会社代表取締役）



・プロフィール

父方：寺院、母方：農家をルーツにもち、和歌山の野山をフィールドに育つ。

東京都立大学・教育学修士（社会教育・ボランティア/非営利組織論・多文化共生）。

在学中に出会った「Socially Engaged Buddhism（社会参加仏教）」に興味を持ち、東京の仏教系財団で述べ5年間勤務後、アジア各国を巡り現地の草の根・仏教リーダーに学ぶ。

2016年～スリランカに渡り、有機農業・フェアトレード・地域開発に3年間取り組んだのち和歌山へ。

2019年Amrita株式会社設立。仏教・教育・食を通じて「暮らしのなかに“善いもの・善いこと”を届ける」が事業モットー。仏教の教えである「平等・多様性・マイノリティへの眼差し」×「革新性」を大切に、週末カフェやオーガニック食品加工、地域フリーペーパー制作を手掛ける。

2020年2月より、スリランカ女性の貧困・教育・ジェンダーに焦点を当てた「しずくスリランカプロジェクト」を現地団体と一緒に開始。“シェアすることで、誰かの未来が広がる”をモットーに、生理への穢れ・差別意識に対して社会的・文化的な視点からアクションを起こしている。

Amrita株式会社：<https://amritabse.com/>

○平野真衣（青山学院大学国際政治経済学部 新3年）



中学で shiho さんと出会い、高校でケニアの布ナプキンプロジェクトに参加する。それ以来、国際協力に従事したいという思いから、現在の大学に進学。エシカルファッションショーや古着回収など、さまざまな分野で活動を広げている最中。

○宇野全智（曹洞宗僧侶、曹洞宗総合研究センター常任研究員）



昭和48（1973）年、山形県生まれ。山形大学理学部生物学科卒業。曹洞宗の布教師養成機関（現在の曹洞宗総合研究センター教化研修部門）修了後、大本山永平寺で一年間の修行生活を送る。曹洞宗総合研究センター研究員、職員等を経て現在、同センター専任研究員。曹洞宗の教えを分かりやすく伝えるための企画・開発を手掛け、曹洞宗の本部、各支部が主催する僧侶・寺族向け研修会の講師などを務める。また曹洞宗公式サイト「曹洞禅ネット」の企画運営や、一般向け各種講演会、研修会、坐禅会、写経会等の他、曹洞宗「こころの問題」研究プロジェクトリーダーとして、被災地支援活動、自死遺族支援活動にも関わる。山形県・地副寺副住職。曹洞宗広報委員